

学校評価アンケートの分析と対策

1 豊かな心の育成

- 【生徒】年間で大きな変化は見られないが、無言掃除が徹底されていないと感じている生徒が多い。
- 始まりがずれていたり、モップ掃除のやり方が不明確なためと考えられる。
- 【保護者】いじめ・不登校防止に関しての情報共有や連携の項目が下がっている。
- 校内や外部機関の連携は行っているが、保護者への情報提供は少なかったかもしれない。
- 【教職員】全体的に上昇傾向と捉えている職員が多い。
- 生徒会活動や話し合い活動には力を注いできたが、生徒と同じで無言掃除への意識化が十分ではなかった。

◆今後の対策◆

- ① H P や安心メールを活用して、生徒の状況については可能な限り情報をオープンにしていく。
- ② 掃除指導に関しては、生徒会での話し合い活動と連動させて、時間や方法等を生徒と一緒に考えていく。

2 確かな学力の向上

- 【生徒】授業への参加状況は良いが、授業外での学習習慣が身に付いていない。
- 他のアンケートをみても、家庭学習の習慣化の未定着は顕著である。
- 【保護者】基礎・基本の徹底と家庭学習の定着を望まれている保護者が多数おられる。
- 学力の向上は本校の大きな課題である。保護者のニーズをしっかりと受け止めて対応していく。
- 【教職員】全体的に良好な状況である。
- 校内研の深まりや I C T の利活用がすすんでいることが大きいと思われる。

◆今後の対策◆

- ① 家庭学習の習慣化については、タブレットによる学習を含め、授業との兼ね合いを見ながら、課題を出す中で質を高めていく。また時間的なことは、例えば「菊鹿学びの時間」を夜8時～9時まで設定し、菊鹿中生は全員がその時間は机に向かうことを約束したりして、全体で行動していく。

3 健やかな体の育成

【生徒】全体的に良好である。

→ 体育の授業中もグラウンドや体育館から生徒の元気な声が届いていた。部活動でも活躍が見られた。また、タブレットによる健康観察もかなり定着してきた。

【保護者】数値は後期が若干下降気味だが、概ね良好である。

→ 部活動の送迎や応援も熱心であるし、学校保健委員会等で睡眠についての研修が深まった。

【教職員】部活動や体育関係の行事への取組は評価が高い。交通安全や防災関係の項目が下降している。

→ 登下校や休日の活動への指導が不十分であったようだ。また、世の中の動きと連動した声かけが不足気味だったかもしれない。

◆今後の対策◆

- ①自分の健康や睡眠に関しては、今後も保健委員会や養護教諭からの情報を提供しながらすすめていく。
- ②防災や交通安全については、行事で指導する面と日常的に意識させていく面の両面から指導を徹底していく。

4 地域とともにある学校

【生徒】伝統である花いっぱい運動は充実できたと感じている。地域行事への参加はコロナ禍で十分とはいえない。

→ コミュニティスクールや学校運営協議会に関しては、教師からの情報提供が少なかった点が数値が低い原因と思われる。

【保護者】全体的に良好である。

→ これまでの本校の取組をよく理解していただいていると思われる。

【教職員】花いっぱい運動や夢への挑戦は、全職員で意識して取り組むことができていた。地域へのボランティア活動や行事参加も少しずつできてきている。

→ 環境づくり担当職員の動きや地域学校協働活動の方の動きで、以前より動きがスムーズになってきたと感じる。

◆今後の対策◆

- ①コミュニティスクールの推進に関しては、生徒も会議の中に参加させたり小学校とも連携を深める中で充実させていく。
- ②夢を持たせる手立てを、種々の教育活動と家庭との連携を重視しながら支援していく。